



2017年5月12日

各位

会社名 日本写真印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也
(コード番号 7915 東証第1部)
問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人
(TEL. 075-811-8111)

連結業績予想との差異に関するお知らせ

2017年2月9日に公表いたしました2017年3月期(2016年4月1日～2017年3月31日)の連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2017年3月期通期連結業績予想数値との差異(2016年4月1日～2017年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 118,000	百万円 △2,000	百万円 △3,500	百万円 △5,000	円 銭 △112.94
実績値(B)	115,802	△3,904	△4,914	△7,408	△169.10
増減額(B-A)	△2,197	△1,904	△1,414	△2,408	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2016年3月期)	119,796	10,546	9,238	6,896	160.72

(注)2017年3月期連結会計年度より「在外連結子会社等の収益および費用の換算方法の変更」を行ったため、前期実績について、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

差異が生じた理由

売上高は主にデバイス事業および情報コミュニケーション事業における当期第4四半期連結会計期間の製品需要が想定を下回ったことにより前回予想を下回りました。

損益面では主にデバイス事業の減収の影響のほか、当期第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたGraphic Controls Holdings, Inc.およびそのグループ会社の取得原価の配分が当期第4四半期連結会計期間に確定し、844百万円が当期の売上原価に計上された影響により、営業利益は前回想定を下回りました。

また、これらの要因に加えて、期末の為替レートが想定よりも円安となった一方で、投資有価証券評価損を計上したこと、税効果会計の影響などにより経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回りました。

以上